

広野文芸欄

季題 当季雑詠

広野町葉月句会

阿部 真生

参道の紫陽花癒す旅心
老鶯の声のしきりに海霧迫る
新盆を迎える支度ははじめけり

遠藤健太郎

子かまきりその目何を捕ふるや
母の笑思いかべて門火焚く
とりかゝる午後の仕事や雲の峯

悟 峯

浴槽の水あそび楽しむ孫二人
東国原知事との握手汗拭う
あちこちに蚯蚓ひからぶ畦の道



塩 史子

夕立や三森山のうしろから
指を刺す朝採り胡瓜籠に満つ
熟れすぎし胡瓜バリバリ食む仔牛

西山子

炎天や安達太良山の突き刺さる
トンネルのつかの間の涼通りすぐ
向日葵や起立礼児等皆元氣

宮下 純子

合歓淡く森閑としてダム湖かな
たれ待つや浅見川原の月見草
山百合のぽんくと咲く峡の道

酒井 津祐

初蝉を指差してゐる少女かな
空をつくひと本ゆるゝ今年竹
音たてゝ石の合間の水涼し

俳句会 会員募集

移りゆく四季折々の自然を深く心にうけて
すぎゆく日々を文字にして詠んで見ても
如何でしょうか。

月一回二時間余りののどかな句会です。
講師先生はいわき市より若き猪狩行々子
先生。ずっと前から知っていたような人な
つこい眼差しの文学の先生です。一句一句
丁寧に読み上げて教えられております。

俳句を作ってみたい御希望の方は
「俳句会 遠藤健太郎 ☎2712412」まで

畜産農家を訪ねて

シリーズ3

広野町では、7軒の農家が、広野町和牛部会に加入して和牛繁殖経営に携わっています。日々和牛の飼育に励んでいる会員を毎月シリーズで紹介します。

畜主名

猪狩 晃一さん
(大字下北迫)

畜主歴

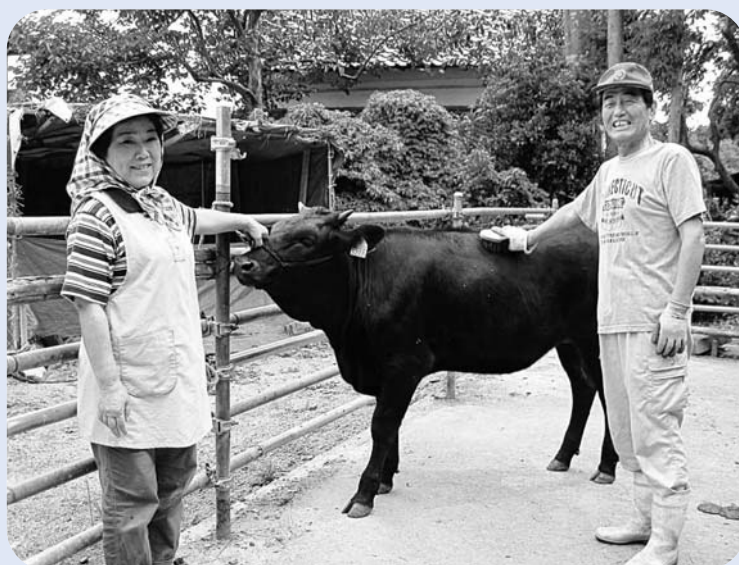
- 平成16年から飼育を始め、現在、親牛3頭、子牛2頭飼育している。

牛を飼育して良かったこと

- 受胎した時が一番うれしい。
- 無事に子牛をセリに出せた時。
- 子牛セリの価格が良い時にぶつかればやりがいもある。

牛を飼育して大変なこと

- お産の時が心配。何事もなく無事出産してくれればよい。



▲右から晃一さんと奥さんの勝子さん

飼育するのに工夫していること

- できるだけ血統のよい子牛を繁殖させること。
- 1年1産繁殖を目標にしている。
- 大麦を作付けして、冬場の青物のない時に生で飼料とする予定。
- 切り藁と籾殻を混ぜたものを牛舎に敷いて、堆肥に利用している。
- 堆肥は、稲作、かぼちゃ、ブロッコリー等の特別栽培、有機栽培として利用している。
- 堆肥を活用してから、稲、野菜の収穫量が増えたようだ。

和牛を導入して繁殖経営に取り組んでみたい方は、役場産業グループまでご連絡下さい。

広野町役場 産業グループ
☎0240-27-4163

折木地区のアスパラガス畑



広野町のアスパラガス栽培

広野町二ツ沼総合公園直売所利用組合では浜通り地方の気候の有利性を生かしながらアスパラガスの栽培拡大を図るため組合員の皆さんが栽培に取り組んでいます。